

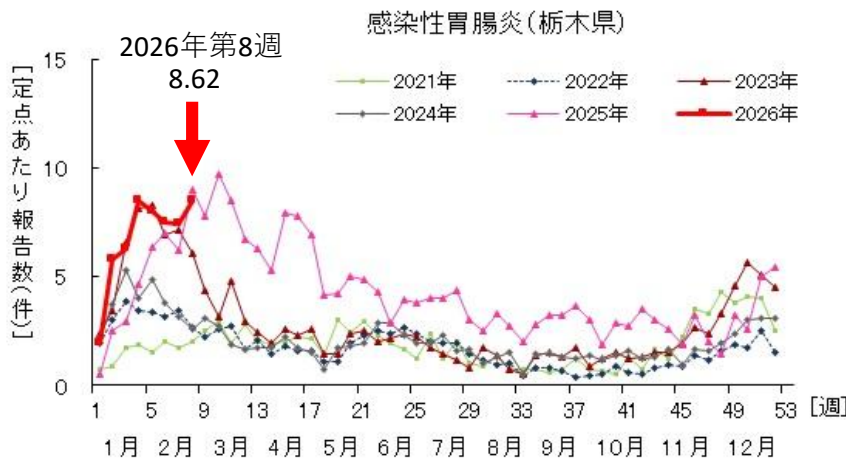


発生動向等サーベイランス情報

施設での感染性胃腸炎の発生が非常に増えています



2月の感染性胃腸炎の定点あたり報告数は、過去5年の同時期と比較してやや多い状況です。春先まで患者の発生・感染拡大に注意が必要です。



定点あたり報告数とは？

例えば、感染性胃腸炎が「定点あたり報告数10.00」の場合、「県内のあらかじめ指定した医療機関(定点)に1週間あたり平均10人の感染性胃腸炎患者が受診した」ということを示します。

県内27の医療機関(定点)



報告

1週間分の患者数の合計

医療機関数

定点あたりの患者数



270人



27施設

=

10.00人

感染対策のポイント

シリーズ21:人の入れ替わりは要注意!

3月になり、退職者が増え、4月に向けて新入職員を受け入れる準備が始めると思います。この時期は、施設内で確立したルールが一時的に緩みやすい時期でもあります。それは、4月に何も知らない新人が増えることが原因であるだけでなく、慣れていないメンバーが少なくなり、様々な業務量が増えて、普段できていたことが「まあ、いいか」とやらないハードルが下がってしまうことによって起こります。

決められたルールが手順通りやられているか、3月から4月にかけては、十分に注意することが重要です。

感染症専門家からのアドバイス



花粉症の時期には、くしゃみや鼻水に悩む人が増えますね。この時期には、医師でも「花粉症か、呼吸器感染の始まりか」判断に苦しむケースが増えます。花粉症の治療をしっかり受けて、症状を抑えておくことは、「花粉症だと思って出勤していたら、実は新型コロナウイルス感染症だった!」というトラブルを、少しでも減らすことができます。治りにくくて悩んでいる方は、薬剤や治療法も選択できるので、専門医への受診がお勧めです。